

社会委員会より熊本地震情報
必要最小限の情報共有のため

2016年4月20日

埼玉地区社会委員会

全般的な知識

I. 命を守る知識と技術の情報館サイト <http://www.coe-cnas.jp/index.html>

II. 九州教区熊本地震救援対策本部からのメッセージ（必読）

「2016年4月14日に起こった熊本地震について

覚えてくださる全国のみなさまへ」

今回の熊本地震にさいし

（4月18日12時現在）

お祈りお支えいただきありがとうございます。

覚えてくださっている、皆さまへのお願いです。

教区外からの人的、物質的のご支援のお申し出につきましては深く感謝申し上げますが、現在九州教区内にて全力を挙げて対応させて頂いており、それに集中させて頂きたくあらためてお願い申し上げる時までお待ちくださいます様お願い申し上げます。（報じられております飲料水、食糧等不足のご支援はライフライン等、少しずつですが回復の兆しもあり、又、ボランティアのご協力につきましても熊本現地入りが困難な状況でございます。）あらためてお願い申し上げます、お見守り、お祈り下さいますようお願い申し上げます。つきましては状況等、最新を九州教区のホームページに掲載させていただきますのでご確認下さいます様、お願い申し上げます。

日本基督教団 九州教区
熊本地震救援対策本部

今回の熊本地震にさいし

（4月16日現在）

たくさんのお祈り支えいただきありがとうございます。

おとといの地震より

今日未明の地震の方が、熊本市内の教会の方々にとってはインパクトが強く、被害も大きいものとなりました。

現在、ガス水道が止まっていることもあり、

大変みなさん苦勞されておりますが、

水など物資の支給に関しては早期の普及も考えられます

ので、九州教区内で行います。

ボランティア募集に関しても、今まだ現状把握をただけですので、募集の是非に関しても定まっていません。

これについては、おってご報告致しますので、

ホームページ上でまたご確認ください。

熊本市内各教会の方々共に、牧師また教会の方も疲弊されていますので、電話での直接の安否のお問い合わせはできるだけご配慮ください。

日本基督教団 九州教区

I. 日本基督教団の熊本地震救援対策本部

(1) 熊本地震救援対策委員会

注 (1) <http://uccj.org/wp-content/uploads/f75b11c2d22f32dea8f57eeeb3fd426.pdf>

(2) 九州教区「熊本地震」救援対策本部

注 (2)

<http://qsyu.tank.jp/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E5%AF%BE%E7%AD%96%E6%9C%AC%E9%83%A8.html>

II. 日本基督教団の募金

(1) 日本基督教団社会委員会

注 (3) <http://uccj.org/wp-content/uploads/9aacf4620485738ead2e408761f13faf.pdf>

熊本地震緊急救援募金のお願い

主の御名を讃美いたします。

2016年4月14日21時26分頃に、熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード6.5、最大震度7の地震が発生しました。さらに、その28時間後の4月16日1時25分頃には、同じく熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3、最大震度6強の地震が発生しました。

九州教区熊本地区の教会を中心に、被害が報告されています。

ただちに募金を開始いたします。祈りをもってご協力をいただきますよう、お願いを申し上げます。

016年4月18日

日本基督教団社会委員会委

員長 芳澤 信

募金期間 特に定めず

目標額 特に定めず

送金先 加入者名 日本基督教団社会委員会

郵便振替 00150-2-593699

(通信欄に「熊本地震緊急救援募金」とお書きください。)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

日本基督教団社会委員会 (電話 03-3202-0544)

(2) 九州教区

九州教区熊本地震救援募金

注 (4)

<http://qsyu.tank.jp/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E5%9C%B0%E9%9C%87%E5%8B%9F%E9%87%91.html>

九州教区熊本地震救援募金のお願い

今回の熊本地震に際し、

たくさんのお祈りとお支えをいただき感謝申し上げます。

九州教区では、この度の地震で、被災された方々・教会の支援活動を行うために、緊急で募金を募ることを決定いたしました。覚えてご協力をお願いいたします。

募金は、九州教区事務所の下記振替口座へお願い致します。

郵貯振替 01770-7-21517

日本基督教団 九州教区事務所

(「熊本地震のため」、と一筆明記してください。)

募集期間 2016年7月末日まで

(但し、今回と同等、もしくはそれ以上の規模の地震が起こった場合は、期間の延長も視野に入れていきます。)

以上、宜しくをお願いいたします。

在 主
日本基督教団 九州教区

注(1) <http://uccj.org/wp-content/uploads/f75b11c2d22f32dea8f57eeced3fd426.pdf>

第1回熊本地震救援対策委員会記録

日時：2016年4月15日(金) 午前9時40分～10時 所：日本基督教団総幹事室
計良祐時財務幹事 大三島義孝宣教幹事 飯島信救援対策本部担当幹事

1. 救援対策委員会設置宣言

- ・石橋秀雄教団議長は、熊本地震救援対策委員会設置を宣言した。

2. 規約の確認

- ・「救援対策基金に関する件」、「事務局規程細則」に基づき、総幹事のもとに救援対策を行うことを確認した。

3. 委員会組織

- ・以下のように委員会を組織した。 道家紀一総務幹事 記：大三島義孝宣教幹事
委加藤誠世界宣教幹事 石田真一郎伝道推進室担当幹事
担当職員：井合綾子
- 4. 被害状況の把握と調査
- ・以下のように担当を決めた。九州教区：道家紀一幹事 各個教会、牧師：加藤誠幹事
幼児施設、関係施設、在日大韓基督教会：飯島誠幹事
- ・情報は道家紀一幹事、大三島義孝幹事に集め、教団公式サイト「お知らせ」で知らせる。
- ・現在入っている被害状況
武蔵ヶ丘教会信徒宅に大きな被害あり
熊本草葉町教会家の一部が壊れた。まだ揺れが繰り返している。教会も落下物が多数。食器類も破損あり。
無事との連絡あり。錦が丘教会信徒の方で電話が繋がらない方がおられる。別府教会特に問題なし。
川内教会特に問題なし。島原教会…牧師、教会建物共に無事。熊本城東教会…牧師ご家族は無事で、避難所におられる。

5. 救援金一時見舞金

- ・東日本大震災など過去事例を参考に、一時見舞い金100万円を加藤誠幹事が九州教区に届ける。
- ・救援金、また救援募金は、被害状況を調査してから判断する。
- ・会計は、救援対策委員会として別途設ける。委員会会計は計良祐時財務幹事。
- ・加藤誠幹事を4月15日に九州に派遣する。九州教区事務所、梅崎浩二九州教区議長とコンタクトを取る。

7. ボランティアの派遣

- ・教団の調査派遣が終わってから判断する。

8. その他

- ・東日本救援対策本部会議（対策室）へ報告することと、関係は別組織を確認した。
- ・PCTから問い合わせがある。

閉会祈祷：石橋秀雄教団議長

注（2）

<http://qsyu.tank.jp/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E5%AF%BE%E7%AD%96%E6%9C%AC%E9%83%A8.html>

・組織

「九州教区『熊本地震』救援対策本部」を組織設置。

各・役割分掌については、以下の通りとする。

- ・責任者（統括）：梅崎浩二（教区総会議長）

※九州教区としての意思決定、及び教団「熊本地震救援対策委員会」との連絡窓口として交渉を行う。

- ・被災教会／地域との連絡／調整全般を、日下部遣志（教区副議長）が担当する。
- ・事務局：新堀真之（教区書記）、渡邊宣博（教区主事）、齊藤剛裕（教区主事）
青戸みぎわ（教区職員）

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7 九州教区事務所

TEL：092-712-6678 FAX：092-712-6808

2. 「初動対応」として

- ①被災教区／被災地域への安否確認を行い、事務局を通して発信する。

情報を集計し、「九州教区ホームページ」（<http://qsyu.tank.jp/>）より発信する。

- ②「教区外」からの「物資、及び人的支援」は、現段階（4/18現在）では、求めない。当面は、九州教区「内」での対応とする。

但し、今後の被災状況、及びライフラインの復旧状況に応じて、臨機応変に対応することとする。

- ③近日中に、「熊本地震 救援募金」（主体：九州教区）を実施し、教区外よりの支援を求め、募ることとする。

- ④益城地区、南阿蘇等、被災地域への支援に関しては、今後YMCA等、他団体との連携を視野に入れつつ、随時対応・発信していくこととする。

3.地震発生より「現在」(4/18)までの、九州教区としての対応

4月14日(木)

・21時26分 熊本地方を震源地とする「余震」(マグニチュード6.5/最大震度7)発生。
熊本市内を中心に被害発生。

4月15日(金)

・早朝より、日下部遣志 教区副議長(川内教会)が、熊本地区諸教会を問安、安否 確認。渡邊宣博教区主事、齊藤剛裕教区主事が電話にて安否確認。

・午後/教団 加藤 誠幹事が福岡空港到着。新堀真之 教区書記と合流。

・午後/馬場勇樹教師(福岡渡辺通教会)が被災地入り。救援物資の支給を行う。

・18:00 大牟田正山町教会にて、教団:加藤幹事、九州教区:梅崎浩二議長、
同書記:新堀真之の三者により、今後の対応について協議を行う。

4月16日(土)

・午前1時25分ごろ、「本震」発生(マグニチュード7.3/最大震度6強)

主に熊本市内諸教会を中心に、被害状況確認。

・午前より、九州教区三役(梅崎議長、日下部副議長、新堀書記)、教団・加藤幹事 が、
熊本市内諸教会(錦ヶ丘、武蔵ヶ丘、熊本草葉町、熊本城東、山鹿、在日大韓 熊本)を
問安。安否確認を行う。

・渡邊宣博教区主事、齊藤剛裕教区主事が、大分地区の諸教会への安否確認を電話にて行
う。

※九州教区HP(<http://qsyu.tank.jp/>)にて、その時点での情報を発信。

・15時

熊本草葉町教会にて、九州教区三役、教団・加藤幹事の4者で協議。

九州教区として、「熊本地震救援対策本部」を設置。今後の対応にあたる旨を確認。

4月17日(日)

・教団 加藤 誠幹事:錦ヶ丘教会の主日礼拝に出席。情報収集を行う。

・夕刻/石橋秀雄 教団議長が福岡入り。

・夕刻/石橋秀雄 教団議長、加藤 誠幹事、梅崎浩二教区議長の3者が、
大牟田正山町教会にて面談。今後の対応についての協議を行う。

4月18日(月)

・梅崎浩二教区議長、日下部遣志 教区副議長、新堀真之教区書記が再度熊本入り。

・九州教区長崎地区(深澤 奨地区委員長、阿部駿一郎、大藪朝祥、樋口洋一の 各教師))
が救援物資を携えて熊本入り。

・九州教区 福岡地区(多田玲一地区委員長、青木麻里子、西岡裕芳の各教師)が救援物
資を携えて熊本入り。

・九州教区鹿児島地区(戸田奈都子教師が熊本入り。)

・石橋秀雄 教団議長、加藤 誠 教団幹事が、救援物資を携えて被災地入り。

(以上、4/18午前時点)

注(3) <http://uccj.org/wp-content/uploads/9aaef4620485738ead2e408761f13faf.pdf>

注(4)

<http://qsyu.tank.jp/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E5%9C%B0%E9%9C%87%E5%8B%9F%E9%87%91.html>